「つながりを深める人間性」「可能性を引き出す知性」「明日を切り拓く感性」

学校だより

ふじ美が原

平成３０年６月２１日
No.3

富士見中学校

特集：一学期前半
人権旬間、中体連

友達のことを知り つながりや絆を深めた 人権旬間、応援練習、壮行会

人権旬間　修復的対話

友達を知り、自分も語り、つながりが深まったＲＪサークル

五月は人権旬間でした。富士見にお住まいの山下英三郎先生から教えていただき、毎日、朝読書の時間に、ＲＪサークルという交流活動を行いました。ＲＪサークルとは、RestorativeJustice＝修復的対話の略称であり、誰のことも排除しない、お互いを尊重できる話合いの方法といわれるものです。今回は色をテーマに、自分を表す色や自分が大切な人に送りたい色などを一人ひとりが話していきました。ＲＪサークルのルールとして「相手を非難しない」「相手の話をさえぎったり意見したりしない」などありましたが、発表者の考えや思いを真剣に聞こうとする姿がありました。ＲＪサークルを通して、仲間の新しい一面を知ることができましたね。

【生徒の感想】

今までクラスの人と話し合いをしてきて、新たに知ることもあれば、知っていたけど詳しく知っているということがなかったので、みんなの意見や気持ちを聞けて良かった。また、自分がしゃべっている時、クラスのみんなはちゃんと聞いてくれて、言い終わったらうなずいてくれたり、拍手してくれたので、嬉しかった。そういうところから、人の気持ちの表れが出てくるんだなと思いました。

一つのテーマについて話し合う時に、一人一人選ぶ色が違って、その色にした理由も様々だったから、３１人のクラスでも色々な考えの人がいることがわかった。みんなが一人一人の話を聞いてくれるから、素直に答えることができて良かった。

3年2部学級通信
Challengers
H30. 5. 18（金）
No. 6

仲間を知る～ＲＪサークル～

１０日（木）から今日１８日（金）まで人権旬間でした。毎日、朝読書の時間に、ＲＪサークルという交流活動を行いました。ＲＪサークルとは、Restorative Justice＝修復的対話の略称であり、誰のことも排除しない、お互いを尊重できる話合いの方法といわれるものです。今回は色をテーマに、自分を表す色や自分が大切な人に送りたい色などを一人ひとりが話していきました。ＲＪサークルのルールとして「相手を非難しない」「相手の話をさえぎったり意見したりしない」などありましたが、発表者の考えや思いを真剣に聞こうとする姿がありました。ＲＪサークルを通して、仲間の新しい一面を知ることができました。互いを知ることから、クラスの絆が深まっていきますね。

- 今までクラスの人と話し合いをしてきて、新たに知ることもあれば、知っていたけど詳しく知っているということがなかったので、みんなの意見や気持ちを聞けて良かった。また、自分がしゃべっている時、クラスのみんなはちゃんと聞いてくれて、言い終わったらうなずいてくれたり、拍手してくれたので、嬉しかった。そういうところから、人の気持ちの表れが出てくるんだなと思いました。
- 自分が思っていることを色で表すのは、はっきりきって難しくて、でも最後に考えながらそそやそやきっきりするんだなと思い出しました。
- 今回初めてでしたが、全員の心の中が見れた気がして、とってもいいＲＪサークルになったと思いました。
- 相手が質問に対してどう思っているのかなど、詳しく知れたり、新たな発見があって良かったと思う。簡単話したりしないんでも、こういうことを思っているんだ、こういう考えなんだというのがわかった。いつもより緊張せずに自分の意見が言えたからよかった。
- 今まであまり話さなくて、よく知らなかった人のことも、ＲＪサークルでその人の事がわかって良かった。向かい合いの時でも、聞いたことがなかったり知らなかったことが発見できたので、今まで以上にクラスの仲が深まったなと思った。
- 人によって、思い出したり、自分のイメージカラーが違って、聞いていていろんな発見を見つけられました。私が思っていたその人のイメージカラーと、その人本人が自分で思っている色が違ったときには、「ああ、こんな一面もあるんだ。」と思い、交流をしていくことができました。

縦割り応援練習　中体連壮行会

後輩へ伝えていく　後輩からサプライズ

平成30年5月23日
3年1部学級通信
ハッピーセット 思い出作り
後輩へ伝えていく

【後輩へ伝えていく】

縦割りでの応援練習。自分たちの姿を見て、後輩はお手本にしたいと言っていた。確かに自分が１年生のときや２年生のときは、３年生のようになりたいと思っていた。そして現在、果たして自分たちは昨年の先輩たちのようになれているのか不安ばかりだ。けれど、しっかりと手本になれるように頑張りたい。

「３年生サプライズ大作戦」を実行しました。僕は少しでも３年生に、自分の思いが届けばいいな…と思って臨みました。そして結果的に応援もいつもの倍(くらい)出て、３年生に感動を与えることができ(たと思い)ました。またメッセージカードを渡した時、「すごい」と喜んでもらえて嬉しかったです。この企画は大成功だったと思います。一番良かったな…と思ったのは、２学年みなで３年生のエールを送るという“挑戦”ができたことだと思います。次の企画も自ら“挑戦”をしていって、感謝されたり、学校をより良くしたりできるように、頑張りたいです。

【後輩から】

午後学活の時間にいきなり学年集会をすると言われて、体育館へ向か

「３年生サプライズ大作戦」大成功！！
２学年全員で３年生を応援した…！
３年生の皆さん思う存分頑張って下さい！！

いました。何をするんだろうと思いながら行くと、２年生が入口に立っていて、入った瞬間にすごい拍手で迎えられました。本当に何も知らなかったので、とてもびっくりしました。大きな声でエールを送ったり応援したりしてくれて、本当に嬉しい気持ちになりました。自分たちが２年生のときには、こんなことはできなかったので、これを企画・運営してくれた２年生がすごいと思いました。２年生のためにも全力で戦いたいです。

平成３０年度　富士見中学校

星降る丘

No.8　H30.6.8　文責　3学年会

いよいよ、中体連諏訪大会

この中体連諏訪大会は、運動部の皆さんの部活動引退をかけた試合の始まりです。全国で１位にならない限り、必ずどこかで勝負に敗れるときが来ます。「自分たちが試合に負けたから、部活動が終わる」、そんな単純なものではないはずです。

皆さんが大会に向かうまでに、どれほど多くの人たちがあなたのために時間を割いてくれたでしょう。あなたを支えてきてくれた人がいることに思いをはせ、そのことを謙虚に受け止め、感謝の気持ちをもち、まずは自分が精一杯プレーしてくるのはもちろん、ここまでの支えてくださった方々に恥じないプレーで、大会に臨んできてほしいと願っています。

中体連で戦う相手は同じ中学生。最初から負けるイメージを持つことはありません。勝負に挑む強い気持ちは、試合が始まる前も、試合中も、あなたが最後まで持ち続ければ相手より勝ることができます。どうぞ、自分の本気で戦ってきてください。

勝って堂々と帰って来てください。負けても胸を張って帰って来てください。皆さんの活躍を心から祈っています。

～3年生サプライズ大作戦～

水曜日、２年生が計画した「３年生サプライズ大作戦」。最後の中体連を迎える３年生に、元気いっぱいの２年生からのエールの応援集会。驚きと喜びで胸がいっぱいになりました。３年生がひたむきに練習する姿を１年間見てきたからこその応援です。努力をしている人を見ている人はたくさんいるということです。うれしいですね。努力を認め合える心が育っている富士見中学校。学校全体のも強い応援を胸に刻ぼってきましょう！

【壮行会校長先生の言葉】

今日は、明日の試合に向けて、「おそれるな、あなどるな」の二つの言葉を送ります。

中学校の部活動の試合では、力の差が３：７でも、やる気に満ちて、調子に乗れば、３のの方が勝つと言われています。そのくらい、勝負には心が大きく関係します。

部活動の目標は勝つことです。しかしながら、その勝つ目標は、部活ごとに異なることでしょう。優勝をめざす部もあれば、南信出場をめざす部、１勝をめざす部と、様々だろうと思います。目標は勝つことですが、目的は人として成長することだと伝えてきました。

そこで、心を整える大切な話をします。

どんな相手でも、自分たちは挑戦者です。全員で乗りに乗って、楽しんで向かっていくこと。どんな相手でも「おそれず」に向かっていく。試合中、競ったり、リードしたりすると、「もしかして、勝てるかもしれない！」と心に隙ができます。その瞬間に、試合をもっていかれてしまいます。

どんな相手でも、「あなどらない」。「自分たちの方が強い！」と構えていて、試合中競ったり、リードされたりすると、「まずい、負けるかもしれない！」と焦ります。その瞬間に、試合をもっていかれます。

最後まで乗りに乗って、楽しんで、プレーの一つ一つに集中すること。対戦相手のいない陸上や水泳は、自分自身を対戦相手にして、集中すること。

それでも負けるときは、いつかは来ます。最後まで勝ち残れるのは、全国で１チームだけです。精一杯挑んで、負けたら、堂々と胸を張って帰ってきてください。

見事勝ち進めたら、静かに闘志を燃やし、次の大会に備えてください。

キーワードは、「おそれるな、あなどるな」です。皆さんの健闘を祈っています。

二年生、キャリア教育「ジョブカフェ信州」「なるには教育」

～夢を叶えた先輩から学んだこと～

二五日（金）にキャリア教育の一環として〝なるには教育〟を行いました。このなるには教育では様々な職種の富士見中の先輩たちにお越しいただき、その職になるには・・・どうしたらいいか、その職についたきっかけ、やっていて感じる喜びなど様々な観点からお話をしていただきました。子供たちはとても真剣な表情で話に聞き入り、メモを取ったり、質問したりしていました。また今回の感想にもそれぞれの熱い思いが綴られていました。これから現実味を増してくる将来の職業の選択。今から将来職に就いた時のために、日常生活を少しずつ変えていこうと考える生徒がいて感心しました。

【生徒の感想（抜粋）】

私はたくさんの職業の人達の話を聞いて、どの人達も「大変なことはたくさんあるけど、やりがいがあるからがんばることができる」という共通点を発見しました。私はまだ行きたい高校や大学が決まっていません。でも、あせらずに今できることを全力でするということが大事だと思いました。それと、自分がやりたいと思っている職業は、本当に自分のやりたいことなのか、自分に合っていることなのかをもう一度考え直してみようと思いました。

夕学が始まりました

自分の学習に活かしたい

フリータイム・

グローアップタイム

五月から、夕学が始まりました。どの生徒も真剣に取り組んでいます。今年は、フリータイムでパソコン室を使ってeライブラリーの単元別学習も活用しています。学習ボランティアの皆さん、今年もよろしくお願いします。

◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇

大会結果は、富士見中Webページに掲載中です。ご覧ください。

富士見町立富士見中学校
諏訪郡富士見町富士見四六五四番地
ＴＥＬ　０２６６－６２－２００９
ＦＡＸ　０２６６－６２－７４０９
担当　油井　彰